

アクエリアングランプリ2010 2nd stage決勝大会

スイスドロールド大会ルール

2010/8/22

◇遵守事項

【エクストリームスタイル】

使用可能なカード

下記に収録されているカードのうち、エクストリームスタイルに対応しているカードが使用可能です。

- ・2005年6月30日発売の「逆襲の巨蟹宮」以降発売されたエクスパンションに収録されているカード
- ・スタンダードスタイル対応のエキストラパック、エキストラエクスパンションのカード
- ・スタンダードスタイル対応の各種PRカード
- ・その他、エクストリームスタイルで使用可能と定めたカード

※使用制限カードについては、会場内のご案内をご確認ください。

※また、Sagal、Saga II のカードであっても上記の使用可能なカードと同名のカードであれば使用可能です。

その他のSagal、Saga II のカードは全て使用不可となります。

※同名カードのテキストが異なるカードにつきましては、最新エクスパンションのテキストに準じます。

※使用不可とされているカードの使用が発覚した場合、本日の全ての対戦結果を没収させていただく場合がございます。予めご了承ください。

※当大会では本日初配布となる下記のカードは使用できません。

- ・PR279「雪女“雪乃”」イラスト/榎宮祐
- ・PR292「クリエイテッドクリエイター“ククルカン”evo.2nd」イラスト/紺野比奈子

- 1対1の2人対戦で1本勝負。
- 1回の対戦は30分で行う。
- デッキの途中変更は認められない。
※サイドボードは禁止。
- 先攻、後攻は7枚のドローの前にジャンケンで決める。(勝った方が先攻・後攻を選択)
- 先攻のファーストドローはなし。
- 後攻は1回のみ手札の引き直し可。手札を引き直す場合、手札を山札に戻してから、後攻、先攻の順にシャッフルを行い、その後、手札を引き直す。
- 開始の合図があるまで、手札を引かない。
- 途中投了は可。また各対戦終了時に限り、大会からのドロップも認めるものとする。
- 同意による引き分け、またはそれに準ずる行為は禁止とする。
- カードのやりとりは行わない。
- その他、詳細は最新のアクエリアンエイジルールブックに準ずる。
- ゲームの勝敗

・敗北条件

- 1.ダメージ置き場に置かれたカードが10枚以上になった瞬間。
(バトルの結果であれば、そのバトル判定の処理が済んだ時点)
- 2.デッキにカードが一枚も無い状態で、デッキからカードを引かなければならない。
- 3.終了の合図があった時点で勝敗が決していない場合、下記の優先順位に基づき勝者を決定する。
※試合時間終了後のエキストラターンは行わない。
 - I.与ダメージ合計:その試合の対戦相手に与えたダメージの累計が多いプレイヤー
 - II.累積与ダメージ合計:それまでの回戦で対戦相手に与えたダメージの累計が多いプレイヤー
 - III.累積受ダメージ合計:それまでの回戦で対戦相手から受けたダメージの累計が少ないプレイヤー
 - IV.じゃんけん
- 4.両者が同時に敗北した場合、下記の優先順位に基づき勝者を決定する。
 - I.与ダメージ合計:その試合の対戦相手に与えたダメージの累計が多いプレイヤー
 - II.累積与ダメージ合計:それまでの回戦で対戦相手に与えたダメージの累計が多いプレイヤー
 - III.累積受ダメージ合計:それまでの回戦で対戦相手から受けたダメージの累計が少ないプレイヤー
 - IV.じゃんけん

・勝利条件

対戦相手を敗北させ、かつ自分が敗北していないプレイヤーの勝利。

- スイスドロールド方式で行う。回戦数は当日の参加人数に応じて変動する。
- 順位決定方法
 - 1.得点合計:勝ち3点、負け0点の得点の合計
 - 2.マッチオポジット:(対戦相手の最終的な得点)÷(試合数×3)の合計
 - 3.与ダメージ合計:対戦相手に与えたダメージの累計
 - 4.得失点差:与ダメージ合計-受けダメージ合計
 - 5.じゃんけん
- いかなる場合でも、ジャッジの判定・指示には従わなくてはならない。
- 対戦の内容が適切でないかと判断した場合、対戦結果を没収することがあります。予めご了承ください。
- 上告について
 - ・ジャッジの裁定に納得ができない場合には、ヘッドジャッジに上告することができます。
 - 上告の際、改めてヘッドジャッジが裁定を下しますが、この裁定がジャッジの下した裁定と同じ場合でも異なる場合でも最終的な裁定となります。本日の大会において、その裁定が覆ることはありません。
- 遅延行為に関する注意
 - ・対戦相手が故意に対戦時間を引き延ばしていると判断した場合は挙手し、ジャッジを呼んで下さい。
 - ・ジャッジの判断により試合時間の延長、または追加のターンを行うことがあります。
 - ・ジャッジが故意の遅延行為と判断した場合、即座に失格となる場合があります。